

ご存知
ですか?

住宅基礎コンクリートの ひび割れ

“早めの補修”がおすすめです!!

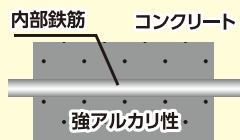
最悪の場合

既存住宅の基礎には**平均7本ものひび割れ**があるとされています。住宅寿命を長くするには、基礎の「ひび割れ補修」は大切です。住宅において基礎コンクリートは、相当の重さを支える大切な役割を担っていますが、容易に取り替えのできない部位です。そのため、**劣化の早期発見・早期対策**は非常に重要です。

『耐震性の著しい低下』や、

『家の傾き』を
引き起こします。

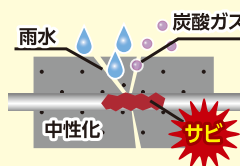
ひび割れがない状態



ひびのない状態であればコンクリートは、数十年をかけてゆっくりと中性化します。



ひび割れがある状態



ひび割れから雨水や大気中の炭酸ガスが侵入。内部鉄筋に錆が発生。
※有筋の場合



劣化し剥落した
住宅基礎コンクリート部分

こうなると、基礎コンクリートの
補修作業・費用も大変なことに…!



ひび割れが『**ない状態**』と同等の性能に戻す補修工法があります!



『国の仕様に則った確かな補修方法』
基礎コンクリートの”ひび割れ”は、
注入ドーム工法で解決!

詳しくは裏面を
ご覧ください

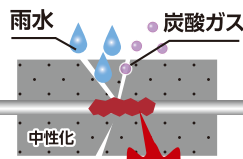
“ひび割れ”は鉄筋コンクリートの劣化を促進します。

基礎コンクリートの劣化

① 中性化

コンクリート内部の鉄筋は、強アルカリ性のコンクリートに覆われている間は錆びません。しかし、コンクリートは空気中の炭酸ガスの影響により、アルカリ性が徐々に失われていきます。この現象を「中性化」と呼びます。中性化が進行するとアルカリ性が失われ、内部の鉄筋が錆び始めます。もし「ひび割れ」があると、中性化と錆びは急速に進行します。

中性化によりコンクリートのアルカリ性が失われる



サビ発生



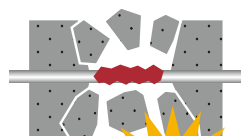
ひび割れにより刻々と迫る「爆裂」へのタイムリミット。

基礎コンクリートの劣化

② 爆裂

コンクリートの内部から破壊がはじまる

内部の鉄筋が錆び始めると、錆により鉄筋が膨張し、コンクリートを内部から破壊してしまうため、最終的にコンクリート表面が剥がれ落ちてしまいます。これを「爆裂」と呼びます。

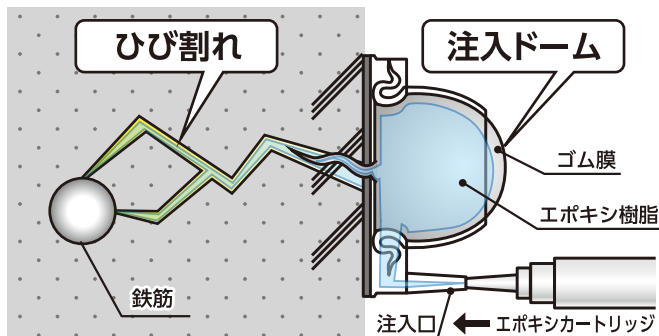


爆裂

『注入ドーム工法』で“ひび割れ”を完全に封じ込める！

注入ドーム工法の特徴

鉄筋コンクリートのひび割れ部分に、**ゆっくりと時間をかけて、エポキシ樹脂を注入**します。コンクリートの諸性能（構造耐力・耐久性・水密性・気密性）を回復します。



【鉄筋コンクリート断面図】

POINT 1

注入ドーム工法は**国の仕様**に則った安心のひび割れ補修工法です。



エポキシ樹脂を自動式低圧樹脂注入工法という国交省「建築改修工事共通仕様書」に標準仕様として採用されている信頼性の高い工法でひび割れに注入します。

POINT 2

“世界遺産”原爆ドームの補修にも使用されています。



エポキシ樹脂は、1967年(50年以上前)に広島市の原爆ドームの保存工事(注入と接着)に使用されており、**現在も健全な状態を維持**しています。



『注入ドーム工法』補修工事の流れ

施工日数:1~3日

エポキシ硬化目安
夏場:中1日 / 冬場:中2日

住まいながらに
できる工事です。



① ひび割れを計測

現状のひび割れの状態やサイズをチェックし、最適な注入剤を選択します。



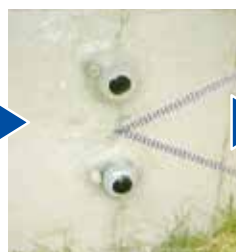
② 注入ドームを接着

注入ドームをひび割れにそって接着固定します。



③ エポキシ樹脂を充填

エポキシ樹脂を注入ドーム内に充填。



④ ゴム膜による低圧注入

エポキシ樹脂が注入ドームのゴム膜の復元力で、ゆっくりと低圧で注入されていきます。



⑤ 注入ドームを除去

エポキシ硬化後、注入ドームとシール部を撤去します。



⑥ 封入完了!

施工部分を丁寧に整えて作業完了です。

※工事はひび割れの発生箇所や建物の構造により、基礎外周が床下に行います。



資格者による施工を行います。

(一社)住宅基礎コンクリート保存技術普及協会が認定する「住宅基礎コンクリート保存技術士」の資格を持った確かな技術者が施工します。

お問い合わせ

西武消毒株式会社

東京支店 03-3994-6481

城東支店 03-6240-2364

大宮支店 048-651-1528

熊谷支店 048-525-0156

高崎支店 027-327-7211

宇都宮支店 028-612-8641

販売代理店



環境機器株式会社

販売元

ビルシステム株式会社